

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】令和 4 年 12 月 27 日(2022.12.27)

【公開番号】特開 2022-142845(P2022-142845A)
【公開日】令和 4 年 10 月 3 日(2022.10.3)
【年通号数】公開公報(特許)2022-181
【出願番号】特願 2021-43073(P2021-43073)
【国際特許分類】

E 0 4 D 3/40(2006.01)

10

【F I】

E 0 4 D 3/40 B

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 12 月 19 日(2022.12.19)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

アルミニウム製の部材であって、
断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の断面長手方向端に形成された凹所と、前記天面における前記凹所が形成された端とは反対側の端から鉛直下方に延びる側面と、前記天面・前記凹所・前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、
上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

棟下地。

30

【請求項 2】

前記側面の下端から前記凹所に向けて前記天面と平行に延びる戻り部を更に有している
請求項 1 に記載の棟下地。

【請求項 3】

アルミニウム製の部材であって、
断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の両端からそれぞれ下方に延びる一对の側面と、一方の前記側面の下端から外方に向けて前記天面と平行に延びる底面と、前記天面および一对の前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、
上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

棟下地。

40

【請求項 4】

屋根本体の所定位置に、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に係る棟下地が固定されており、
前記棟下地に対して棟板金が固定されている
屋根。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 1 2 】

この発明のある態様に従うと、
アルミニウム製の部材であって、

断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の断面長手方向端に形成された凹所と、前記天面における前記凹所が形成された端とは反対側の端から鉛直下方に延びる側面と、前記天面・前記凹所・前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

棟下地が提供される。

【 手 続 補 正 3 】

10

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 3 】

好適には、

前記側面の下端から前記凹所に向けて前記天面と平行に延びる戻り部を更に有している。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 4 】

この発明の別の態様に従うと、
アルミニウム製の部材であって、

断面形状において、断面長手方向に延びる天面と、前記天面の両端からそれぞれ下方に延びる一对の側面と、一方の前記側面の下端から外方に向けて前記天面と平行に延びる底面と、前記天面および一对の前記側面で囲まれた内部空間とを有しており、上方に折り曲げられた、金属製横葺屋根材における鉄板部分の先端部を前記内部空間に収容するようにして配置される

30

棟下地が提供される。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 5

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

40

50